

山田みやこの活動報告

令和7年2月22日(土)

オンラインにて参加

鳥取県が女性の働きづらさや生きづらさの根源にあるアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込みや偏見)の解消に向けて新組織を設置する方針を固め、既存組織を統合し、新たな部を置く方向で調整している。

2025年度当初予算案に6千万円を盛り込み男女共に働きやすい社会をめざす。

そこでアンコンシャス・バイアスが職場環境に与えるリスクや弊害についてセミナーを開催した。

アンコンシャス・バイアスについて知ろう

～組織の力を向上させるためのヒント～

講師 キャリアコンサルタント 越野 由美子さん

○アンコンシャス・バイアスとは

考える以前に起こる知的連想のプロセスの一つ

過去の経験や知識、価値観、信念などを基に認知形成し、何気ない発言や行動に表れやすい

※無意識に関連付けたことが、相手や周囲にストレスを与えたり、ネガティブな影響を及ぼしたりすることが問題

○誰もが持っているアンコンシャス・バイアス

十分な証拠なしにあるいは客観的な判断をせずに相手を悪く考えたり一方的に決めつけることに問題がある

○職場に潜む代表的なアンコンシャス・バイアスとその影響

- ・ある特定グループにステレオタイプな判断をし客観的な判断を妨げる
- ・仮説や信念を検証する際にそれを支持する情報ばかりを集め反証する情報を無視または集めようとしない
- ・集団に所属することで無意識に同調傾向、思考停止に陥る
- ・ある人物に好意を抱くとその人物に対するすべてのものに対して好意的に考える
- ・自分にとって都合の悪い情報を無視したり過小評価したりしてしまう
- ・女性や少数派へのポジティブな偏見が差別につながる

○アンコンシャス・バイアスを放置し続けると

- ・相互不信から信頼関係が低下
- ・社員のモチベーションが低下
- ・セクハラ、パワハラ、マタハラなどのハラスメントの原因となる
- ・組織の生産性が低下
- ・離職が増加
- ・同調圧力が強まり、不祥事やトラブルにつながる

○アンコンシャス・バイアス対処のための5つのヒント

- ①自己理解を深める
- ②自分のバイアスが及ぼす影響を考える
- ③自己開示を心がける
- ④職場のメンバーについて理解を深める
- ⑤意図的に好意的行動をとる

※施策を実践していく中で「自分ごととしてとらえる方法」を実行する鳥取県の方式は大変参考となり一歩進んだものである。